

◆平成29年9月4日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 北朝鮮が8月29日の弾道ミサイル発射に続き、9月3日には核実験を強行実施した。一自治体として出来ることに限界はあるが、市民の安全のために何が出来るか今一度考えていただきたい。
- 9月3日、ルルマップ自然公園にてサイクルフェスタが開催され、市内外より多数の方が参加された。市外の方と話した際に、「恵庭は空気がいい」などと感想を頂き、恵庭の魅力を感じてもらえたと思う。今後、えにわん産業祭などイベントが続くが、市民だけではなく、市外の方々へ恵庭の魅力を発信するため、市ホームページの掲載方法など工夫していただきたい。

2. 議事

(1) 北朝鮮によるミサイル発射への対応状況について【総務部】

◎資料に基づき、総務部長説明

- 日米共同訓練が8月10日から28日までの間実施され、18日からは新型輸送機MV-22オスプレイが訓練に参加した。訓練に伴い、庁内連絡会議を4回開催し情報共有を行っていたが、何事もなく訓練を終えることが出来た。
- 8月29日(火)の午前5時58分に北朝鮮より弾道ミサイルが発射され、Jアラートが作動し、防災無線が自動起動し放送が流れた。
- 広報6月号に「ミサイル落下時の行動」について、避難時の行動を市民に周知していたところであるが、当日市民から避難場所等についての問合せが3件あった。
- 当日、国民保護計画に基づき、午前6時20分に第1配備体制を取り、自衛隊や消防、石狩振興局等から情報収集などを行い、午前9時00分に第1配備体制を解除した。
- 職員の配備体制について分かりづらい部分もあることから、地域防災計画と連携させながら整理することとしたい。

(2) えにわん産業祭の開催について【経済部】

◎資料に基づき、経済部長説明

- 9月10日(日)に恵庭市総合体育館にて開催される。本イベントの周知について今年はテレビ北海道が後援となっており、9月2日(土)より子ども向けのアニメが放送される時間帯に1日3~4回、CMを流している。
- 今回初の試みとして、子どもたちが出展企業取材し、その内容を1枚の新聞として発行するイベントを実施する。また、事前に市内の高校、大学、専門学生に対し「スチューデントワッペン」を配布し、産業祭当日にそれを付けてきた学生は気になる出展企業の説明を受けられる学生向けの企業説明も開催される。
- 友好都市である藤枝市からは11社が出展し、当日恵庭市内企業12社と商談が行われる。

(3) 観光ホスピタリティーセミナーについて【経済部】

◎資料に基づき、経済部長説明

- 公益社団法人北海道観光振興機構の事業の一環で開催されるセミナーであり、振興機構と市、公益社団法人日本観光振興協会との共催である。内容はインバウンドやバリアフリー観光についてとなっている。

(4) めぐみの庭めぐりの開催について【経済部】

◎資料に基づき、経済部長説明

- 先日、市内の小学生がいる親子、市内教職員、市職員向けに花のまちえにわ研修事業として市内のオープンガーデンのバスツアーを開催し、全部で70名程度の方々に参加いただいた。
- 今回は市民向けに9月8日（金）、9日（土）の2日間で開催する。

3. その他

【総務部長】

◎接遇向上強化月間について

組織マネジメントの取組の中に位置づけている接遇向上について、9月1日から30日の1ヶ月間を「接遇向上強化月間」とし、全職員で取り組むこととしている。期間中はポスターの掲示や窓口のカウンターに卓上スタンドを設置し市民へ周知している。なお、9月19日から29日にかけて来庁者に対し、職員の接遇に対するアンケートを実施する予定。

◎北海道シェイクアウトの実施について

「防災の日」である9月1日（金）に「北海道シェイクアウト」を実施した。当日は地震を想定した安全行動の訓練を実施、来庁者も含め約千人の方々に参加いただいた。

◆平成29年9月27日開催庁議◆

1. 市長挨拶

- 決算審査特別委員会個別質疑に対応いただいた各部署に対し感謝申し上げます。今後開催される常任委員会及び総括質疑についてもよろしく対応願いたい。

2. 議事

(1) 中期財政収支見通しについて【総務部】

◎資料に基づき、総務部長、財政課長より説明

- 平成29年度は、財源対策として当初予算に計上した財政調整基金繰入金2億2,700万円は取り止める見込みである。
- 平成30年度以降から経常収支の状況が厳しくなり、政策的事業充当一般財源を投資2億5千万円、経常1億2千万円としても、最終的収支が5年間の合計で約21億円不足となる見込みである。特に平成32年度にはごみ焼却施設の稼動に伴うランニングコストや消費税率引き上げによる影響などにより平成33年度の最終収支マイナスは8億2,700万円になると推計している。
- 「財政運営の基本指針」に掲げた指標は、経常収支比率については平成29年度以降は上昇、地方債現在高は第5期総合計画の計画当初の年度末残高よりも下回る見込みである。実質公債費比率は焼却施設に係る起債影響により、平成31年度以降上昇していくと推計される。
- 財政調整基金の推移について、平成33年度には収支不足による財源対策を全て財政調整基金で補填すると全て支消されることとなり、財政運営の基本指針に掲げる目標である標準財政規模の5%相当である約7億円を下回ることとなる。
- この財政収支見通しは、このままの状態では推移したいわゆる無策とした場合であり、企画振興部

で進める行政改革、財政課を中心とした財源対策などにより経常収支の改善を図っていくことから、各部局のご協力をお願いしたい。

3. その他

【総務部長】

◎庁舎狭隘化による事務所移転について

10月10日（火）午前で工事が完了し、同日の終業後から財政課及び契約課が移動する計画である。10月11日（水）よりその他の移転する部署もそれぞれ順次に移動する。

この度の改修工事は1階市民ホールの拡張及び通路幅の拡幅を目的とし、子ども未来部に授乳室を設け、会議室を増設する改修工事である。

◎接遇向上強化月間に係る市民アンケートについて

市民アンケートを実施しているが、前回500件の回答があったが現在120件程度に留まっているため、市民に対しアンケートに協力いただくよう依頼願いたい。